

令和 8 年度予算概算要求における宇宙関係予算

令和 8 年度予算概算要求

(令和 7 年度当初予算

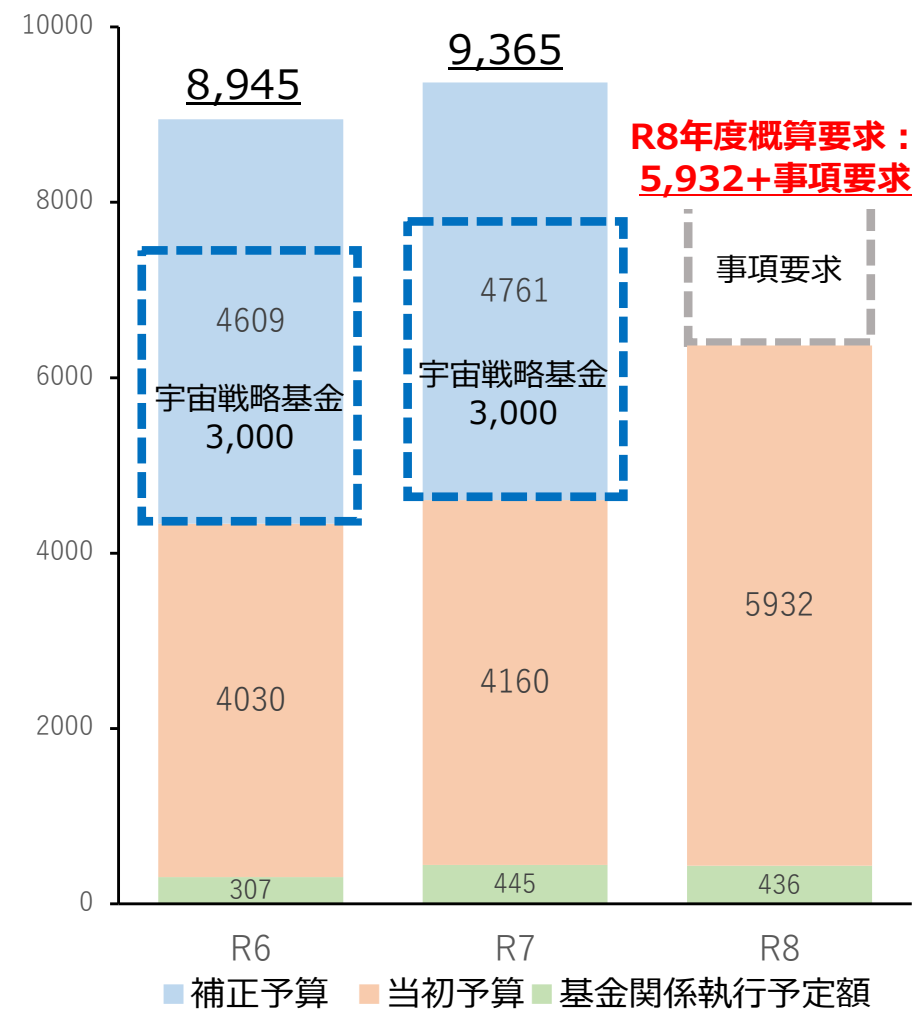
(令和 7 年度当初予算+令和 6 年度補正予算等

5,932億円 (+事項要求)

4,160億円)

9,365億円)

(単位 : 億円)



府省名	前年度計	R8要求			
		R6補正	R7当初	R7基金関係 執行予定額	対前年当初
1. 内閣官房	947	325	622	-	747 + 20%
2. 内閣府	394	188	206	-	316 + 53%
3. 警察庁	9	0	9	-	9 + 1%
4. 総務省	644	550	94	-	115 + 23%
5. 外務省	3	0	3	-	3 + 14%
6. 文部科学省	3,824	2,153	1,516	156	2,030 + 34%
7. 農林水産省	74	29	45	-	89 + 97%
8. 経済産業省	1,362	1,000	73	289	71 - 3%
9. 国土交通省	688	479	208	-	194 - 7%
10. 環境省	54	0	54	-	59 + 10%
11. 防衛省	1,366	37	1,329	-	2,299 + 73%
合計	9,365	4,761	4,160	445	5,932 + 43%

※四捨五入の関係で合計額は必ずしも一致しない。

※「基金関係執行予定額」として、経済安全保障重要技術育成プログラム (Kプロ) 及び SBIRフェーズ 3 基金のうち宇宙関係のテーマを集計している。
(R 7 執行予定額 : 445億円、R 8 執行予定額 : 436億円)

主な予算項目（各府省別）

全府省庁合計：5,932 億円（+事項要求）

※ 各金額は四捨五入によって算出

【内閣官房】		<u>7 4 7 億円</u>	【農林水産省】	<u>8 9 億円</u>
● 情報収集衛星の開発・運用		7 4 7 億円	● スマート農業技術の開発・供給促進事業	4 6 億円
【内閣府】		<u>3 1 6 億円</u> （+事項要求）	【経済産業省】	<u>7 1 億円</u>
● 準天頂衛星システムの開発・整備・運用		2 4 1 億円（+事項要求）	● 宇宙産業技術情報基盤整備研究開発事業	2 億円
● 宇宙開発利用推進費		4 1 億円	※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ（1 6 6 億円） 及びSBIRフェーズ3基金（9 1 億円） 合計 2 5 7 億円	
● 中央防災無線網の運用等		6 億円	【国土交通省】	<u>1 9 4 億円</u> （+事項要求）
● 衛星データ等を活用した海洋AI分析		5 億円	● 無操縦者航空機の運用等	1 1 9 億円
【警察庁】		<u>9 億円</u>	● 人工衛星の測量分野への利活用	2 7 億円（+事項要求）
● 高解像度衛星画像解析システムの運用等		9 億円	● 静止気象衛星ひまわりの運用等	2 5 億円
【総務省】		<u>1 1 5 億円</u> （+事項要求）	● 次期静止気象衛星の整備	事項要求
● 自律性確保に向けた低軌道衛星インフラ整備事業	事項要求		【環境省】	<u>5 9 億円</u>
● 次期静止気象衛星に搭載する宇宙環境計測装置の開発	4 億円		● GOSATシリーズによる地球環境観測事業等	4 1 億円
● 10Gbps級の高速光通信技術の開発	3 2 0 億円の内数		【防衛省】	※令和8年度歳出予定額を記載 <u>2, 2 9 9 億円</u>
【外務省】		<u>3 億円</u>	● 衛星コンステレーションの構築	-
● 衛星画像判読分析支援、宇宙分野の外交政策の推進	3 億円		● 次期防衛通信衛星の整備等	-
【文部科学省】		<u>2, 0 3 0 億円</u> （+事項要求）	● 次世代防衛技術実証衛星の開発	2 4 億円
● 基幹ロケットの開発・高度化、打上げ高頻度化	1 1 3 億円（+事項要求）		● 画像解析用データの取得	2 4 1 億円
● 将来宇宙輸送システムに向けた研究開発	4 2 億円		※内閣府・総務省・文部科学省・経済産業省の4府省で、 宇宙戦略基金の拡充に向けた要求 合計 6 3 億円+事項要求	
● 官民連携光学ミッションの開発	5 0 億円			
● 衛星地球観測重点テーマのプログラム推進	2 6 億円			
● RAMSES（プラネタリーディフェンスのための小惑星探査）	4 8 億円			
● アルテミス計画に向けた研究開発等	3 4 8 億円（+事項要求）			
うち有人と圧ローバ開発	3 7 億円（+事項要求）			
うち新型国際宇宙ステーション補給機（HTV-X）	8 8 億円			
うち火星衛星探査計画（MMX）	1 8 0 億円			
※この他、令和8年度執行予定額としてKプロ（4 9 億円） 及びSBIRフェーズ3基金（1 3 1 億円） 合計 1 8 0 億円				

宇宙開発戦略推進事務局 令和8年度概算要求

305億円+事項要求（令和7年度予算：202.6億円、令和6年度補正予算：186.9億円）

実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進

令和8年度要求額：241.0億円 + 事項要求

（令和7年度予算額：169.1億円）
（令和6年度補正予算額：136.9億円）

- 他国の衛星測位システムがなくても「みちびき」のみで測位が可能となる **7機体制の整備・運用**
- バックアップ機能の強化や利用可能領域の拡大のために、**令和7年度より11機体制に向けた開発に本格的に着手**
- 昨年度補正予算より開始した **3号機後継機、8号機の開発に係る経費**に加えて、**2号機後継機、4号機後継機の開発に着手**することが不可欠（一部事項要求）

宇宙開発利用推進費

令和8年度要求額：40.7億円

（令和7年度予算額：23.0億円）
（令和6年度補正予算額：50.0億円）



準天頂衛星「みちびき」

- 衛星・月面関連技術など、各省が連携して戦略的に取り組むべき技術開発を着実に推進

宇宙戦略基金の拡充（総務省・文科省・経産省と連携）

令和8年度要求額：10.0億円 + 事項要求

（令和6年度補正予算額：3,000億円）
（令和5年度補正予算額：3,000億円）

- 速やかに総額1兆円規模の支援を行うことを目指す**とともに、**民間投資や宇宙実証の加速、地域やスタートアップ等の国際競争力につながる特色ある技術の獲得・活用や産業の集積等の観点からスタートアップを含む民間企業や大学等の技術開発への支援を強化・加速**
- 基金の追加造成に向けて、総務省、文科省、経産省と連携して**新たな技術開発テーマ**を検討中（一部事項要求）

※この他、「調査費・庁費」として**機構・定員要求に係る人件費増**を想定